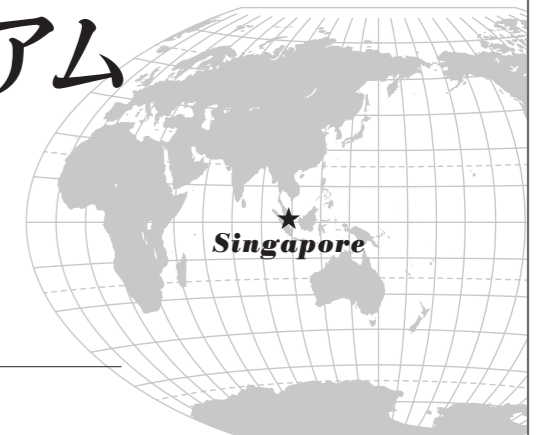


ビシャン・コンドミニアム 新築工事



清水建設株式会社 ビシャン・コンドミニアム作業所 工事主任

我妻秀亮

Hideaki Wagatsuma

プロジェクトの紹介

シンガポール中心部のビシャン地区は、MRT（地下鉄）二路線が利用可能な交通至便な場所である。地下鉄ビシャン駅には大きなバスターミナルがあり、駅周辺には大型ショッピングセンターや図書館もあるため、生活利便性も高く評価されている。また、シンガポール最大規模の公園「Bishan Park」にも近接し、著名教育機関も立地するなど、環境に優れた住宅地となっている。

このビシャン地区の駅前徒歩五分という場所、アジア有数の不動産リーディングカンパニーであるキャピタランド社を筆頭に、三菱地所アジア、清水建設の三社にて合弁会社を設立し、総住戸数五〇九戸の分譲マンション開発事業が行われている。

工事概要

約一万二、〇〇〇平方メートルの敷地内に鉄筋コンクリート造の三階建てを二棟配し、それぞれを三本のスカイブリッジで連結する構造となっている。三階のスカイブリッジ上にはプールがあり、地階にも二つのプールおよびテニスコートが一面計画されている。シンガポールのランドマーク的な存在となっているマリーナベ



完成予想パース

イサンプズをデザインした著名な建築家によって設計されており、外観が特徴的で、ひな壇状の躯体や各住居から斜めに突き出たバルコニーなどが目を引き付けるデザインとなっている。

大胆なデザインを実現する施工には、高い技術レベルを求められる。フロアごとのレイアウト変化に対応する複雑な配置の仮設材や、コアなどの部分で繰り返し使用出来るシステム型枠の採用。特に、長さ三〇メートルのスカイブリッジの設置に当たっては、二五〇トンの躯体の揚重を可能とする綿密な仮設計画を策定した。

また、お客様から要求されている高いグレードでのプロジェクト管理に対応するため、現場と清水建設設計部、建築技術部が一丸となっ



世界で活躍する日本の建設企業



全景現状写真

取り組んでいる。その成果として、シンガポール政府機関から、ABC (Active, Beautiful & Clean Water) 認証 (公共事業局)、グリーンマーク金賞 (建築建設庁)、ユニバーサルデザイン金賞 (都市再開発庁) など多数の表彰を受けて

いる。

二〇一一年十二月に着工した工事は、現在躯体工事が完了し、内外装工事、地下工事が最盛期を迎えている。二〇一五年三月の完成に向け、最後まで品質・工程・安全の管理に全力を尽くしていく。

おわりに

シンガポール経済の発展は、外国資本と外国人労働者に支えられていると言われている。政府は、積極的に他国の建設技術を学び、取り入れていくことを推し進めており、建設労働力についても、多くの外国人を受け入れてきた。しかし、最近では外国人就業規制が強化され、労働力の確保が難しい環境となってきた。このような背景により、生産性を向上させるプレキャスト工法がさらに注目され、当作業所でもバルコニーや斜めトラスなどにプレキャスト工法を多く採用している。

建設業は、経済に左右されやすく、その国の風土によって労働環境が全く異なるものとなる。しかし、お客様から求められているものは、変わることはない。その時々での変化に上手く対応し、局面を打開できる柔軟な考え方で、その要求に作業所、清水建設スタッフ一丸となって応えていく。